

漢方薬 8割強が中国依存 国家戦略で生薬の増産を

対談シリーズ

加藤一郎と、その素晴らしき仲間たち



慶應義塾大学医学部 漢方医学センター副センター長 診療部長、准教授 渡辺賢治氏

プロフィール

わたなべ・けんじ 昭和59年慶應義塾大学医学部卒業、平成2年4月東海大学医学部免疫学教室助手、3年12月米国スタンフォード大学遺伝学教室ポストドクトラルフェロー、5年12月米国スタンフォードリサーチインスティテュート分子細胞学教室ポストドクトラルフェロー、7年5月北里研究所東洋医学総合研究所、13年慶應義塾大学医学部東洋医学講座(現漢方医学センター)准教授 現在に至る。日本内科学会内科専門医、米国内科学会上級会員、日本東洋医学会専門医・指導医、日本東洋医学会副会長、和漢医薬学会理事、日本統合医療学会理事、(財)日本漢方医学研究所評議員、日本医学教育学会代議員、社会保障審議会統計分科会委員、厚生労働省統合医療のあり方検討委員会委員、Director of the Board, International Society for Complementary Medicine Research、WHO ICD改訂委員会委員

漢方との融合が 日本医療の特徴

加藤 漢方ブームです。これを一過性のものに終わらせないためには、農家、国民の皆様が生薬のことをもっと知ってほしいと思います。先生が出演されたNHKテレビの「クローズアップ現代」を見て、私は驚くと同時に勇気づけられました。驚きは、最先端医療と漢方が融合したのが日本の医療の特徴であり、世界でも比類のない統合医療のモデルである、その知的財産が、今、危機に瀕していることです。中国は中医学を国際標準とするように取り組んでおり、そうなれば日本の漢方は、世界の医療現場から排除される可能性もあるということです。一方、勇気づけられたのは、日本の漢方の発展のためには良質な国産の生薬の増産が不可欠であり、日本農業の再生は日本経済の再生だと話されたことです。

5月のISO(国際標準化機構)会議の出席者は日本19人に対し韓国55人、中国162人と聞きましました。ここに中国、韓国の国家戦略として官民をあげた姿勢が現れている。日本では「いいものを作れば売れる」という考え方が強いのですが、国際標準は無視できない課題です。渡辺 いくらものが良くても国際標準を取らないと普及しないというのは明らかです。ちなみに、日本の生薬の自給率は高かったのですが、今は13%程度で、80%を中国に依存しています。

加藤 行政刷新会議では漢方薬を保険適用から除外する動きもありました。薬価基準引き下げは、生産農家にそのしわ寄せがいき、高齢化も相まって栽培をやる農家が減り、生薬の生産基盤は弱体化しました。

品質の高い薬草栽培が 医療の質を高める

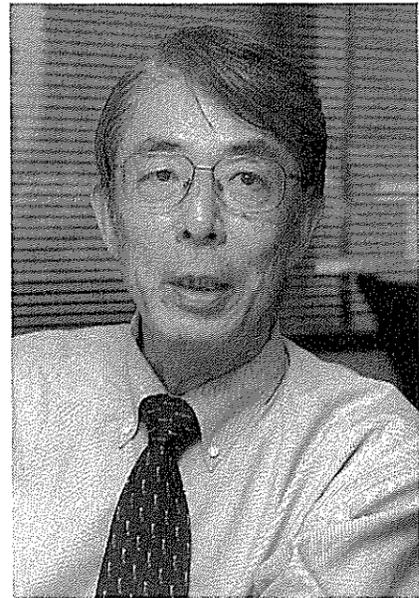
渡辺 我々の目的は患者を治すことですが、いい医療を提供するためには、いい薬を作るためのいい原材料が必要です。こうした漢方の特性を考えた場合、バリエーションという言葉があるように、生薬生産から漢方薬の製造、医療現場までつながる全体として、きちんとした安心の仕組みがなければいけません。農家が良品の薬草を作れば、それを正当に評価して買い上げてくれる製薬メーカーがきちんとあって、医者が安心して使うことができるという仕組みが必要です。

一番足かせになっているのは薬価問題です。日本の医療用漢方製剤のマーケットは1000億円前後ですが、医療

品全体の市場からみれば1%強で、極めて微々たるものです。しかしながら一部の行政は、なぜか漢方を目の敵にして保険から外そうとしているのです。薬価は30数年前に制定された後、物価の上昇に伴い原材料費は上がりましたが、逆に薬価はここ20年ほど3割ほど下がっています。ところが今度是中国国内で生薬市場が急成長し、さらに欧米でも需要が伸びて、結果として良品の生薬が日本に入らなくなってしまう。こうした状況を国は放っておいてよいのかと私は言いたい。このままいくと漢方の存続が危ない以上に日本の医療の質が危ないといえるので

このままでは 日本の医療が危ない

中国が国策として薬草の生産に取り組み始めてから約20年。国内市場だけでなく、欧米からの需要も伸びて、今では10兆円産業に急成長している。日本はというと、生薬の自給率は13%程度にまで下がり、80数%を中国に依存するようになった。また良品の生薬は日本に入りにくくなっている。「こうした状況を国は放っておいてよいのか」と、対談は日本農業と医療をつなぐ論点を次々にあげて熱気を帯びた。



ジュリスキャタリスト 代表取締役 加藤一郎氏

プロフィール

かとう・いちろう 昭和24年生まれ。昭和46年全農入会。59年米国全農燐鉱(株)副社長、平成10年本所肥料農業部次長、11年本所総合企画部長、14年常務理事、17年専務理事就任、17年代表理事専務、23年退任。現在、農業経営法務研究会座長、ジュリス・キャタリスト代表取締役。

薬学部のほうも漢方をコアカリキュラムに入れ、6年間に勉強できる体制ができています。ここで指摘しておきたいのは、漢方薬を使う医者は増えたが、それは一西洋の薬の代わりに、こういう薬もありですよ」といった使い方であり、漢方医学そのもの

加藤 種苗会社は野菜や果物の品種改良に巨額な投資を競っていますが、薬草に投資した人の話はあまり聞きません。その点、薬草はまだ野生種に近い。ここをどう打破するかという課題もあります。渡辺 中国に政府機関ができて国策として薬草生産に取り組んだのはまだ20数年前のことです。国際戦略にも力を入れ、今では医薬品、健康食品などを含む生薬製品の市場は10兆円産業となつてい

## 薬草の適正な価格形成を

加藤 我が国には薬草市場がなく、良質なものが高く評価されるという仕組みがありません。製薬メーカーと栽培農家の契約で時給の形で支払われていることが多い。良品の薬草にはプレミアムがつくべきです。薬草の適正価格を形成するメカニズムを考えなくてはならないと考えます。

加藤 売って儲けている業者もあり、業界の自浄作用も必要です。これらのことを考えると、良質な生薬が流通して正當に評価されるように、大本の法律を見直す必要があるのではないかと思います。

## 医師の9割が漢方薬を使っている

加藤 先日、千葉大学の薬診療所の喜多所長を訪問して感じたことは、漢方の診療は人間が本来持っている自然治癒力を向上させることで、治療しようとするので、お医者さんが患者を診る時間が長くなります。処方薬も薬剤師がたんの先生の生薬のなかから

調剤するので時間がかかります。病院経営の効率化という面からみると、効率が悪い。しかし医療を効率化という視点だけでみてもよいのかと疑問も感じます。また、漢方薬の調剤能力のある薬剤師が少ないことでした。漢方薬を使う医師はどの程度いるのでしょうか。

渡辺 おっしゃるとおりです。薬事法、日本薬局方が今日の基準になつてきているかどうか疑問のところがありません。今では安全性やトリーサビリティーが重視され、農薬・重金属のチェックをきちんとする必要があり、その分のコストが加算されます。生薬の卸売会社も中国産薬草の高騰と薬価基準の引き下げのなかで、逆さや販売を余儀なくされ、生薬卸業から撤退する動きもあります。その一方で安からう悪からうの生薬を

加藤 タテ割りの行政の影響です。厚労省の生薬担当課の名前が監視指導・麻薬対策課というので驚きです。要員も含めて国家戦略を構築する体制になつていないのでしょうか。



渡辺 大学医学部のカリキュラムの中で漢方の講座が必須になりませんでした。教育の成果もあり、今では医師の9割が漢方薬を使うようになったというデータがあります。

渡辺 現代医学は専門分化されて、肝臓は診られるが、腎臓は診られないという医者が出てきました。専門家がこころ細分化です。しかし、人間の体はシステムでつな

加藤 予防医学としても漢方薬が注目されていますが、米国の場合、漢方などへの投資額はどれくらいですか。

加藤 我が国の薬用植物の採取栽培の歴史は出雲風土記の時代まで遡ることができま

民の医療に使い、併せて家臣を生薬の行商に行かせて、各大名の動向を探っていた。武田家の恵林寺の近くにも、生薬の産地がありました。考えてみれば、昔から国を治める3大要素は、武力、食糧(米)、医療(生薬)ではなかったかと思えました。

加藤 日本は？

加藤 我が国の薬用植物の採取栽培の歴史は出雲風土記の時代まで遡ることができま

し、輸出を制限してくる可能性があります。生薬の国産化は急務です。過日、長野県の上田にある真田記念館を見学して驚いたのですが、戦国大名の真田家は生薬を領

渡辺 徳川家康も生薬に詳しくあったそうです。加藤清正も朝鮮出兵で籠城した時に生薬を兵士に飲ませて、衰えた士気を高めたといわれています。

加藤 日本は？

加藤 我が国の薬用植物の採取栽培の歴史は出雲風土記の時代まで遡ることができま

## 日本の薬草生産は存亡の危機

加藤 その一方で漢方は認知症やインフルエンザ、アレルギーといった病気にも威力を発揮する現代的なものな

渡辺 現代医学は専門分化されて、肝臓は診られるが、腎臓は診られないという医者が出てきました。専門家がこころ細分化です。しかし、人間の体はシステムでつな

加藤 予防医学としても漢方薬が注目されていますが、米国の場合、漢方などへの投資額はどれくらいですか。

加藤 我が国の薬用植物の採取栽培の歴史は出雲風土記の時代まで遡ることができま

### 対談を終えて

渡辺 賢治慶応大学医学部漢方医学センター副センター長は漢方を学びたくて医学部に入りましたが、当時は漢方に理解がある先生が少なく苦労されたとい

加藤 日本は？

加藤 我が国の薬用植物の採取栽培の歴史は出雲風土記の時代まで遡ることができま

加藤 種苗会社は野菜や果物の品種改良に巨額な投資を競っていますが、薬草に投資した人の話はあまり聞きません。その点、薬草はまだ野生種に近い。ここをどう打破するかという課題もあります。渡辺 中国に政府機関ができて国策として薬草生産に取り組んだのはまだ20数年前のことです。国際戦略にも力を入れ、今では医薬品、健康食品などを含む生薬製品の市場は10兆円産業となつてい